

2019年度 活動方針

昨年5月、前知事のスキャンダル発覚を受け突入した県知事選挙は、我が党が支持する候補と野党統一候補の一騎打ちとなりました。前回の参議院通常選挙・県知事選挙での敗北の教訓から、原発ワンイシューを避けるために、我が党は裏方での選挙戦に徹しました。結果、勝利を掴むことができたものの、最後の最後までどちらに軍配が上がるか予断を許さない展開でありました。

このことから、私たちは一層の緊張感をもって、常日頃から党勢拡大に邁進せねばなりません。

本年は統一地方選挙、参議院通常選挙が続けて執行されます。その結果が県連の命運を左右することは火を見るより明らかであります。

「勝って兜の緒を締めよ」の精神をもって、12年に1度の政治決戦を勝ち抜くため、女性局一致結束し、我が党公認・推薦候補者の全員当選に向けた活動を展開してまいります。

さて、女性局ではこれまで10年間にわたり重要事業のひとつとして児童虐待防止啓発活動を推進してまいりました。しかし、今年1月に起きた千葉県野田市での虐待死事件など、凄惨な児童虐待は後を絶ちません。県内において、虐待を受けた疑いがあるとして県警が2018年に児童相談所に通告した18歳未満の子どもの数は795人となり、前年に比べ43.8%増加しました。本来、子どもを守るべき存在であるはずの親が、我が子を痛めつけるという悲しい現実には歯止めがかからない状況です。

親が守れない子どもは、社会が守らねばなりません。

私たちは虐待事件をただ悼むだけでなく、児童相談所全国共通ダイヤル「189」の徹底周知など、具体的な行動をもって児童虐待ゼロを目指し活動してまいります。

以上の観点から、本年の活動方針を次のとおり提案いたします。

- 1 りぶるのつどい、いどばたキャラバン等を通じて女性組織を強化しよう
- 2 統一地方選挙・参議院通常選挙の必勝を期し、選挙態勢を構築しよう
- 3 児童虐待防止「ハッピーオレンジ運動」を強力に推進しよう